

IT資産の管理範囲

調査会社	ハードウェア	ライフサイクル管理			コスト管理			セキュリティ・BCP管理			ROIの評価			IT戦略の評価			シャド-IT資産や実体のないIT資産の把握			
		管理要否	管理主体	管理内容	管理要否	管理主体	管理内容	管理要否	管理主体	管理内容	管理要否	管理主体	管理内容	管理要否	管理主体	管理内容	管理要否	管理主体	管理内容	
A社	ハードウェア	ホスト	x	不使用	ホストは使用していない	x	不使用	x	不使用	x	不使用	x	不使用	x	不使用	x	不使用	x	不使用	
		サーバー	o	主管理部門 (リプレイス)	サーバーは利用部門が管理しているものはIT部門対象外	o	利用部門	管理内容は左に同じ (IT部門では実績を発生内訳毎に総額を把握)	o	IT部門	購入時にIT部門で審査している	o	利用部門	購入時にIT部門で審査している	o	プロジェクト部門	o	利用部門	年一回確認して稼働状況把握	
		IaaS, PaaS	o	利用部門 (契約)	特定部門だけで契約して利用している場合はIT部門対象外	o	利用部門		o	IT部門	購入時にIT部門で審査している	o	利用部門	購入時にIT部門で審査している	o	プロジェクト部門	△	利用部門	シャド-IT資産は実績からIT部門で洗い出し、継続有無判断は購入部門	
	ソフトウェア	オンプレミス	△	利用部門 (契約+リプレイス)	特定部門だけで契約して利用している場合はIT部門対象外	o	利用部門	管理内容は左に同じ (IT部門では実績を発生内訳毎に総額を把握)	△	IT部門	基幹業務に使用するものはIT部門で審査している	△	利用部門	基幹業務に使用するものはIT部門で審査している	△	プロジェクト部門	△	利用部門	有償の場合は年一回確認を実施 (無償から有償に変わった場合などで把握できていないケースがある)	
		ミドルウェア	o	IT部門 (契約+リプレイス)	開発プラットフォームはIT部門で契約	o	IT部門		o	IT部門	同左	o	IT部門	開発言語を見直しする場合に検討	o	IT部門	o	IT部門	開発言語見直しする場合に要否判断	
		SaaS	o	利用部門 (契約)	特定部門だけで契約して利用している場合はIT部門対象外	o	利用部門		△	IT部門	購入時にIT部門で審査している	△	利用部門	購入時に購入部門で審査している	△	プロジェクト部門	o	利用部門	シャド-IT資産は実績からIT部門で洗い出し、継続有無判断は購入部門	
	ネットワーク	機器	△	IT部門 (リプレイス)	ネットワークは全てIT部門で管理	o	IT部門	同左	o	IT部門	同左	△	IT部門	同左	△	プロジェクト部門	△	利用部門		
		回線	o	IT部門 (契約)		o	IT部門		o	IT部門	同左	△	IT部門	同左	△	IT部門	△	IT部門		
		IaaS	o	IT部門 (契約)		o	IT部門		o	IT部門	同左	△	IT部門	同左	△	IT部門	△	IT部門		
	ユーザーデバイス	PC	o	IT部門 (リプレイス)	IT部門でセティングしユーザー部門へ配布	o	IT部門	管理内容は左に同じ (IT部門では実績を発生内訳毎に総額を把握)	o	IT部門	BCPは対象外	△	利用部門	購入時に購入部門で審査している	x	対象外	o	利用部門	年一回確認して把握 (産業PC情報の伝達が不十分)	
		モバイル機器	△	利用部門 (契約+リプレイス)	特定部門だけで契約して利用している場合はIT部門対象外	o	利用部門		△	利用部門	社内セキュリティルに沿って購入部門で審査している。BCPは対象外	△	利用部門	購入時に購入部門で審査している	x	対象外	△	利用部門	購入部署に任せられている状態	
		プリンター	x	無し	ライフサイクル管理はしていない	o	利用部門		x	対象外	x	無し	x	対象外	x	対象外	x	無し		
B社	ハードウェア	ホスト	x																	
		サーバー	o	IT部門 (開発用途以外)																
		IaaS, PaaS	o	IT部門 (開発用途以外)																
	ソフトウェア	オンプレミス	o	IT部門 (開発用途以外)																
		ミドルウェア	o	IT部門 (開発用途以外)																
		SaaS	o	IT部門 (開発用途以外)																
	ネットワーク	機器	o	総務部門																
		回線	o	総務部門																
		IaaS	o	総務部門																
	ユーザーデバイス	PC	o	IT部門 (開発用途以外)																
		モバイル機器	o	IT部門 (開発用途以外)、総務部門																
		プリンター	o	総務部門																
C社	ハードウェア	ホスト	o	情報子会社 (IT部門)	複数事業部門で活用しているため取りまとめて管理	o	IT部門		o	IT部門、セキュリティ統括部門	△	IT部門	製作 (投資) 単位でROIを評価しており、ソフトウェア所管で管理主体は変わる。(IT投資としての評価はIT部門で実施)	△	経営層、IT部門	IT戦略は経営層がIT部門で決定・評価。一方でIT部門が関わるプロジェクトでもオーナーである事業部門の領域における戦略があるケースではその部門で評価。DX戦略に関する評価 (第3社情報セキュリティ点検) 等はDXを中心として、各グループ会社IT関連部門協議で実施している。	x		当該事象が発生しない	
		サーバー	o	情報子会社 (IT部門)	複数事業部門で活用しているため取りまとめて管理	o	IT部門		o	IT部門、セキュリティ統括部門	△	IT部門		x						
		IaaS, PaaS	o	IT部門	IT部門で管理	o	IT部門		o	IT部門、セキュリティ統括部門	o	IT部門		o	経営層、IT部門		x			
	ソフトウェア	オンプレミス	o	情報子会社 (IT部門)	複数事業部門で活用しているため取りまとめて管理	o	IT部門		o	IT部門、セキュリティ統括部門	o	部門、利用部門		o	経営層、IT部門		x			
		ミドルウェア	o	情報子会社 (IT部門)	共通基盤としてIT部門で管理	o	IT部門		o	IT部門、セキュリティ統括部門	o	部門、利用部門		x			x			
		SaaS	o	IT部門	原則IT部門で取りまとめて管理	o	IT部門	ITコストはコスト最適化の観点からIT部門で把握	o	IT部門、セキュリティ統括部門	o	部門、利用部門		o	経営層、IT部門、利用部門		o	IT部門、セキュリティ統括部門	クラウド利用にはIT部門、セキュリティ統括部門の審査を行う	
	ネットワーク	機器	o	情報子会社 (IT部門)	IT部門で管理	o	IT部門		o	IT部門、セキュリティ統括部門	△	IT部門		x			o	IT部門、セキュリティ統括部門		
		回線	o	情報子会社 (IT部門)	IT部門で管理	o	IT部門		o	IT部門、セキュリティ統括部門	△	IT部門		x			o	IT部門、セキュリティ統括部門	社内ネットワークへ接続しているセキュリティ監視の中で管理	
		IaaS	o	情報子会社 (IT部門)	IT部門で管理	o	IT部門		o	IT部門、セキュリティ統括部門	△	IT部門		x			o	IT部門、セキュリティ統括部門		
	ユーザーデバイス	PC	x		PCLCMサービス利用	o	IT部門		o	IT部門、セキュリティ統括部門、情報子会社	△	IT部門		△	IT部門		△	IT部門、セキュリティ統括部門	IT部門主体で端末管理 (産業-VerUp推進) PC等含む	
		モバイル機器	x			o	IT部門		o	IT部門、セキュリティ統括部門、情報子会社	△	IT部門	端末更新がある際はIT部門で実施	△	IT部門	IT戦略観点での評価が必要な場合はIT部門で評価	△	IT部門、セキュリティ統括部門	社内ネットワークへ接続しているセキュリティ監視の中で管理	
		プリンター	o	情報子会社or総務 (IT部門)	工場によっては導入時の経緯によってITor総務で管理	o	IT部門		o	IT部門、セキュリティ統括部門、情報子会社	△	IT部門		△	IT部門		△	IT部門、セキュリティ統括部門		
D社	ハードウェア	ホスト	x		ホスト未使用	x		x		x		x		x		x		●大きな部分では存在しない。確認済み。システムオーナー側にあり、オーナー部門を明確している。ただし、細かな部分では、過去に利用部門にて作成したAccessなどの非IT資産については明確な管理基準がないまま利用されているものがある。→ IT部門の立場では、Excelマクロと同様、利用部門にて責任をもって運用しているが、運用実態としては、ITに問い合わせが来ている。ローコード/ノーコードアプリが増えるとの部分が増えることで懸念している。(事業会社DX部門を巻き込み、ルール化を進めようとしている)		
		サーバー	o	IT部門	●オンプレ想定、H/WはIT管理	o	IT部門	●ライフサイクル管理と同様	o	IT部門		△			△					
		IaaS, PaaS	o	IT部門	●現在未使用。今後利用予定。その場合、基幹系はIT、DX系はDX部門想定 (ルール策定中)	o	IT部門	同上	o	IT部門	同上	△		同上	△		同上	△	同上	
	ソフトウェア	オンプレミス	o	IT部門/利用部門	●一部の工場生産システムについては、その使い方もあり、利用部門にて管理しているものも存在 ●一部のソフトウェアシステムについては、利用部門にて管理	o	部門/利用部門	同上	o	部門/利用部門	同上	△		同上	△		同上	△	同上	
		ミドルウェア	o	IT部門/利用部門	同上	o	部門/利用部門	同上	o	部門/利用部門	同上	△		同上	△		同上	△	同上	
		SaaS	o	IT部門/利用部門	●社内システムと連携している外部サービスについては、一部例外はあるがIT統括部にて契約している ●連携がないものは、利用部門にて契約しているが、明確なルール化はない (ユーザー部門にて契約後、社内システムと連携した場合、管理をITに移すか?)	o	部門/利用部門	同上	o	部門/利用部門	同上	△		同上	△		同上	△	同上	
	ネットワーク	機器	o	IT部門	●ネットワークは全てIT	o	IT部門	同上	o	IT部門	同上	△		同上	△		同上	△	同上	
		回線	o	IT部門	同上	o	IT部門	同上	o	IT部門	同上	△		同上	△		同上	△	同上	
		IaaS	o	IT部門	同上	o	IT部門	同上	o	IT部門	同上	△		同上	△		同上	△	同上	
	ユーザーデバイス	PC	o	IT部門	●PC管理は全てIT	o	IT部門	同上	o	IT部門	同上	△		同上	△		同上	△	同上	
		モバイル機器	o	IT部門/利用部門	●ソフトウェア同様、一部の工場内モバイル機器はユーザー部門 (エンジニアリング部門)	o	部門/利用部門	同上	o	部門/利用部門	同上	△		同上	△		同上	△	同上	
		プリンター	o	IT部門	●PC同様、IT管理	o	IT部門	同上	o	IT部門	同上	△		同上	△		同上	△	同上	
E社	ハードウェア	ホスト	o	IT部門	複数事業部門で活用しているためIT部門で管理	o	IT部門	ITコストはコスト最適化の観点からIT部門で全てを把握	o	IT部門	セキュリティの全社統制はIT部門で実施	o	IT部門	ソフトウェア開発単位でROIを評価しており、ソフトウェア所管で管理主体は変わる			x		当該事象が発生しない	
		サーバー	o	IT部門	共通基盤。管理関係はIT、事業部門固有は事業部門で管理	o	IT部門		o	IT部門	それに基づき各資産を所管している箇所をセキュリティ対応を実施	o	部門、個別			x				
		IaaS, PaaS	x		ライフサイクルという観点はない	o	IT部門	IT部門でも自らのコスト管理は当然ながら実施	o	IT部門		o	IT部門	NWや共通基盤の実績配賦を現在検討中			x			
	ソフトウェア	オンプレミス	o	IT部門	全社共通。管理関係はIT、事業部門固有は事業部門で管理	o	IT部門		o	IT部門		o	利用部門					x		
		ミドルウェア	o	IT部門	共通基盤のためIT部門で管理	o	IT部門		o	IT部門		o	IT部門						x	
		SaaS	x		ライフサイクルという観点はない	o	IT部門		o	IT部門		o	利用部門					o	IT部門	セキュリティの観点で把握しているが、今後はコスト観点でも把握を予定
	ネットワーク	機器	o	IT部門	NW機器はIT所管	o	IT部門		o	IT部門		△	IT部門					x		
		回線	x		サービス利用でライフサイクルという観点はない	o	IT部門		o	IT部門		△	IT部門					x		
		IaaS	o	IT部門		o	IT部門		o	IT部門		△	IT部門					x		
	ユーザーデバイス	PC	o	IT部門	OS/Office更新等全社共通の取組みのためITで管理	o	IT部門		o	IT部門		x		DWSの観点ではITで評価しているが、高稼働化には特に評価していない				x		
		モバイル機器	o	IT部門	セキュリティ内蔵。DWS等の観点からIT部門で管理 (セキュリティ内蔵システム連携、MPS一括契約等の観点からIT部門で管理)	o	IT部門		o	IT部門		△						x		
		プリンター	o	IT部門		o	IT部門		o	IT部門		o	IT部門	MPS購入時には評価				x		